

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス千駄木教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人の子どもや保護者のニーズに沿った細やかな支援	・支援について、職員間で話し合う時間を多くもっている。 ・職員が、支援に必要な知識や技術を得ることが出来る環境作り。(社内研修の充実、支援関係書籍の充実など)	・職員間で一人一人の子どもや保護者のニーズや支援目標等をしっかり共有出来ていることを前提に、限られた時間で、支援について十分な話し合いが出来るよう心がける。 ・支援に繋がる視点からの観察力、考察力の向上に向け、発達や支援についての知識を更に深める為に、外部研修の積極的な活用。
2	・職員間の連携	・1日の療育後の、職員での振り返りの時間を大切に、その日の子どもの様子を共有するようにしている。 ・子どもの記録を短期目標に沿って、ポイントを抑え簡潔にまとめることを心がけ、いつどの職員が読んでもわかるようにしている。	・プログラムの際、職員間での役割を事前に明確にしておくことで、さらにスムーズにプログラムが進められ、子どもの様子も余裕をもって見られるようになることが期待できる。
3	・子どもが安心して楽しく過ごせる環境	・子どもに寄り添い、その子の興味関心を知り、それを積極的に教室の環境作りや、支援に活かすようにしている。 ・季節感を大切にした楽しい教室環境作りを心掛け、季節に応じた壁面飾りを制作し、壁面の毎月の大型カレンダーは、子どもたちが製作を楽しむ機会となっている。	・子どもの様子や心の変化に敏感であることを心掛け、それについて職員間で共有し、教室での問題であれば、直ぐに対応し、安心して楽しく過ごせる環境を整えるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・関係機関との連携が十分に取れていない	・子ども一人一人の関係機関やその役割を十分に把握してない。 ・他機関と関わりを持つ機会がが少ない。	・子どもが教室外の生活で学校をはじめどのような関係機関と関わりながら生活をしているのかを積極的に知るようになる。 ・外部の研修に積極的に参加し、関係機関と繋がる努力、顔を合わせ話しをする機会を多くもつようにする。
2	・保護者支援	・ペアレントトレーニング等の専門的な支援の知識や技術を持っていない。 ・保護者同士で情報を交換出来るような場の提供が出来ていない。	・ペアレントトレーニング等をはじめ、保護者支援に必要な知識や技術を習得するために、外部での研修に積極的に参加し、それを職員で共有し、事業所全体としての支援力を上げる。 ・保護者のニーズの把握に努め、必要があれば情報交換の場を提供していく。
3	・危機管理、安全管理	・マニュアルの周知。 ・実際の場面でマニュアルがスムーズに適切に機能するかどうか。	・マニュアルを定期的に読み合わせる機会をもつようにし、職員の周知を徹底する。 ・既存のマニュアルのもと、訓練やシミュレーション等を行い、実際の場面でスムーズに適切に機能するようにしておく。また、振り返りを通し、マニュアルの見直しなどを行う。